

## <東北電力・盛岡ガス・ガス保安協への要望書>

2008年11月26日

東北電力株式会社  
取締役社長 高橋宏明殿

岩手県生活協同組合連合会 会長理事 加藤善正  
岩手県消費者団体連絡協議会 会長 高橋克公

### 電力料金の値上げ中止を求める要望書

謹啓 時下ますますご清栄のことと拝察申し上げます。

平素は地域住民のために公共事業体として、電力の安定供給にご高配を賜り感謝申し上げます。

さて、史上最高の原油価格となったことをうけて、貴社の電力料金の値上げが発表され、多くの消費者、需要者がその影響に不安を持っていました。その後、料金引き上げ巾の縮小が報道されましたが、最近の原油・石炭・天然ガスなど、エネルギーの輸入価格の暴落は激しく、この間の料金引き上げ計画の根底を揺るがしているものと考えます。

こうしたエネルギーの輸入価格は、7月のピーク時の4割以下に急落しており、円高の影響もあり、ドバイ原油の円建て輸入価格はピーク時の三分の一以下、2005年水準を下回っています。こうした影響はタイムラグがあり、これまでの異常高騰時のコストアップが、一時期、貴社の経営を悪化させていることは十分に理解できるどころです。

しかし、こうした世界的な原油や穀物の異常高騰は、食料など生活必需品の一斉値上げだけでなく、あらゆる石油製品や飼料・肥料・加工生産コストの高騰をもたらし、消費者・生産者・事業者のくらしと経営を直撃しました。特に、地域格差が拡大し各自治体の住民サービスも低下している東北地方のこうした実態は想像以上にきびしいものがあります。さらに、金融危機によってもたらされる、これからの不況・販売不振、賃金・収入の引下げ、税金や社会保障の負担増などを考えると、電力料金の値上げが住民・消費者の「先行き不安」を一層拡大することは明らかです。

公共料金として確実な収入が保証され、住民の協力もあって東北地方最大の優良企業に発展した貴社におかれましては、今回の料金値上げ計画を見直され、これからのコスト急落を考慮されて、今回の値上げ計画を白紙撤回されることを、貴社の末端ユーザー、すべての需要者が期待しています。

私たちは県内最大の消費者組織として、今回の原油価格の異常高騰を受けた貴社の値上げ計画の中止を、切にお願い申し上げます。

謹白

2008年11月26日

盛岡ガス株式会社

取締役社長 熊谷祐三殿

岩手県生活協同組合連合会 会長理事 加藤善正  
岩手県消費者団体連絡協議会 会長 高橋克公

## 「ガス料金の値上げ計画」の中止を求める要望書

謹啓 時下ますますご清栄のことお慶び申し上げます。

さて、都市ガス原料の異常高騰を理由とする貴社の料金値上げが発表され、多くの消費者・需要者はその影響を心配しています。

原油・穀物など商品先物取引市場に流れ込み史上最高価格を作り出していた「投機マネー」が撤退する中で、原油をはじめとした各種エネルギーの輸入価格が急落をみせています。報道によると、液化天然ガス（LNG）、液化石油ガス（LPG）、天然ガスとも、この間の最高値の4～5割に下落、また昨今の円高の影響も考慮すれば、2005年水準の価格に急落していると思われま

す。貴社におけるガス製造コストが投機マネーの影響で高騰し、今回発表の値上げが必要な状況下にあったことは、利用者も認めるどころです。しかし、最近のこうした原料コストの急落は、その値上げの理由をなくし、場合によっては来年以降の大幅値下げ（円高還元要求など）を求める動きになる可能性もあります。

こうした原料コストの高騰、急落が経営に与える影響はタイムラグがあり、一時期、原料コストの異常高騰が貴社の経営に多大な影響を与えたことは確かです。しかし、確実なコスト低減が見込める今日の段階においては、値上げ中止を求める利用者が圧倒的に多いことをご理解いただけるものと思います。

原油・穀物市場になだれ込んだ投機マネーによる高騰は、あらゆる食料品・生活必需品の一斉値上げ、飼料・肥料・石油製品などの生産加工コストを引き上げ、消費者・生産者・中小零細事業者などのくらしと経営をかつてなく悪化させています。さらに、金融危機によってもたらされる、これからの不況・販売縮小、賃金・収入の低下、税金や社会保障費の負担増などを考えると、さらにきびしくなるくらしと経営を、ガス料金の値上げが直撃することになります。

私たちは、県内最大の消費者組織として、貴社が最近の原料コスト急落の中で、今回の値上げ計画を撤回し、その値上げを中止されることを切にお願い申し上げます。

謹白

2008年11月26日

社団法人 岩手県高圧ガス保安協会  
専務理事 八重樫 茂 殿

岩手県生活協同組合連合会 会長理事 加藤善正  
岩手県消費者団体連絡協議会 会長 高橋克公

## 「L P ガス料金の適正化（引き下げ）指導」に関する要望書

謹啓 時下ますますご清栄のことお慶び申し上げます。

さて、原油・穀物などの商品先物取引市場に投機マネーが流れ込み、史上最高価格を作りだし、輸入L P ガス価格などの高騰が貴業界へも計り知れない打撃を与えたことと思います。しかし、投機マネーの撤退によって、原油をはじめエネルギー輸入価格は急落をみせています。

さらに、これから始まる世界的な不況による影響が国民の暮らしを直撃しようとしている今日、これらコストの急騰と急落をいかなる価格で消費者に正しく理解してもらうかが、あらゆる業界において求められていると考えます。

私たちは県内最大の消費者組織として、盛岡ガスがすでに発表していた料金値上げの中止を求めますが、県内における最大のガス需要はL P ガス利用者であり、貴協会に対しても、この要望書でのお願いを申し上げます。

県内のL P ガス料金は確実に値上がりしています。一定の競争があるとはいえ、ガソリンや軽油・灯油などと比べれば、その値上げは着実に進行しており、消費者から値上げに対する不満や不信の声も寄せられています。しかし、これまでは、輸入コストの異常な高騰が原因であるだけに消費者もある程度理解していた面もあります。

しかし、報道によると、原油は7月最高時の1/3、輸入L P ガスも5割弱に下落、また昨今の円高の影響も考慮すれば、2005年水準の価格にまで急落していると思われれます。一定のタイムラグがあるとはいえ、少なくとも明春あたりからは、末端価格も値上げ前の価格、あるいは2005年レベルに引き下げることが必要と考えます。

もとより貴協会が価格について指導することは、「ヤミカルテル」の恐れもあり、できないことは承知しておりますが、これから始まるかつてない不況の下で、くらしの悪化に苦しむ消費者や、食堂や食品加工を行う中小零細企業などのユーザーに「信頼され・支持される」業界を指導する役割は、極めて大きく重要です。

私たちは県民の大多数を組織する消費者団体として、貴協会がL P ガス料金の適正化（引き下げ）に一層の指導力を発揮されることを切に要望いたします。 謹白